

「美しい流線形のフォルム」に 秘められた理由

デンタルユニットは、機能性を高めると複雑な構造が求められます。統合・調和をテーマに、多機能性とデザイン性の両立という高いハードルを乗りこえ、類まれなる機能美を備えたデンツプライシロナの「トリートメントセンター」は誕生しました。そのこだわりを最も体現している一つが、この美しい流線形のフォルムなのです。

デンタルユニットは診療室そのもの。だからこそ、患者さんと医療従事者が求める様々な要件を満たさなければなりません。「トリートメントセンター」は、機能だけでなく「患者さんの安らぎ」と「見た目の美しさ」までを考慮されています。例えば、ダイナミックでありながらエレガントで美しいシートのデザイン。患者さんはひと目で、診療への安心を感じることができます。

—その理由はデンツプライシロナの今日までの長い歩みと大いに関係があります。1950年代の治療は、患者さんは椅子に垂直に座り、術者は患者さんに合わせて体をひねるという、術者・患者双方に大きな負担が強いられるものでした。

では、患者さんに負担がかからない姿勢とはなんにか? 血流を阻害せず、筋肉が緊張せず、関節に負担がかからない、リラックスした姿勢。辿り着いた答えは、人間が水に浮かんでいる姿勢です。患者さんが緊張せず自然な体勢を保てること、それは術者が提供する治療のクオリティーを上げ、治療の成功につながります。

これこそ「美しい流線形のフォルム」の理由に他なりません。



TREATMENT CENTERS REPORT.

2018.July

北海道札幌市
医療法人社団豊翔会 南2条千葉歯科クリニック

理事長 千葉 豊和先生



デンツプライシロナ株式会社

本社／〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル

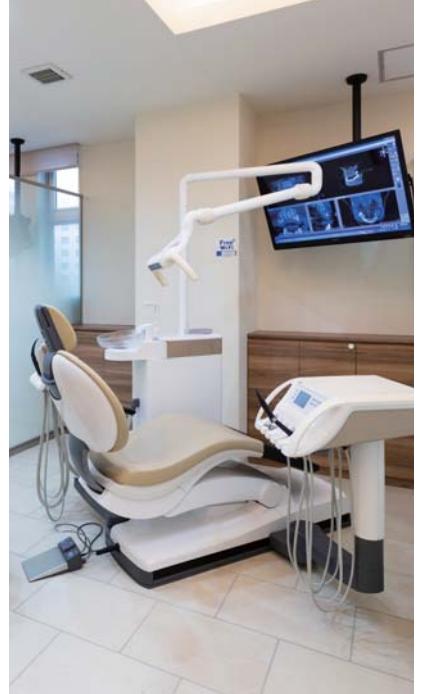
■支店・営業所

■札幌支店 Tel:011-709-5800	■広島支店 Tel:082-546-2301
■仙台支店 Tel:022-266-4020	■福岡支店 Tel:092-518-1800
■東京支店 Tel:03-5148-7895	■盛岡営業所 Tel:019-604-2340
■横浜支店 Tel:045-440-1521	■庄内営業所 Tel:0235-29-1217
■名古屋支店 Tel:052-251-8467	■埼玉営業所 Tel:048-799-2931
■大阪支店 Tel:06-6243-6636	■静岡営業所 Tel:054-653-2711

BT 6302PD

「患者さんを診る」「患者さんが見る」それは互いの信頼関係

北海道札幌市 医療法人社団豊翔会 南2条千葉歯科クリニック 理事長 千葉 豊和先生



2013年に3院目として南2条千葉歯科クリニックはオープンした。周囲にオフィスや病院が立ち並ぶ札幌市の中心部に位置し、保険診療と併せ、審美修復治療、インプラント治療等の自費治療を幅広く提供している。理事長である千葉豊和先生は「ためらいなく笑えること」を健康の重要なバローメーターとして捉え、審美と機能回復においてその実績と共に、全国的な知名度を誇っている。その千葉先生が構築した医院のコンセプト、そしてデンツプライシロナのデンタルユニット「トリートメントセンター」が果たしている役割についてレポートする。

千葉先生の医院コンセプトはどのようなものですか

3院目として5年前に開業しました。患者さんの層、地域特性、商圈を意識しながら、プライバシー保護とリラクゼーションを第一に考えました。医院全体のカラーをリラクゼーション効果の高いものに統一し、全ての診療室を個室としながらも圧迫感を与えないよう余裕ある天井高を取るなど、安心して治療を受けたける環境になっていると思います。我々は患者さんを日々診療しています。と同時に

患者さんも私たち歯科医師、スタッフ、そして院内を見ています。その視覚的情報や第一印象にマイナスなものがいれば、なかなか払拭することは難しく、またその先の治療結果をも左右するのではないかと思う。先ず、院内は清潔感があり重厚感を備えるべきと考えています。のために必要なホスピタリティや設備は何か、それらがどのような効果を発揮するか、という考えを大事にしています。

トリートメントセンター「Sinius」を導入されていますが、その経緯やご感想をお聞かせください

大学院時代、医局員用のデンタルユニットが、デンツプライシロナの前身にあたるシーメンス社製のもので、私が歯科医師として最初に使用したのがこのユニットでした。贅沢な経験でした(笑) 他を圧倒する重厚感ある作りで「自分もいつかはこんなユニットが使えるようになれば」という夢をずっと抱いており、それが実現して導入したときは感慨深いものがありました。

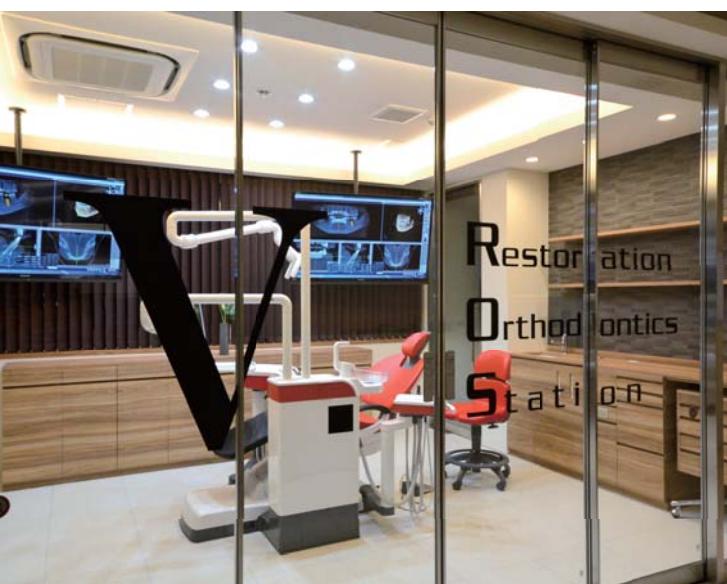
患者さんが診療室に入りユニットへ誘導する

際、座面を非常に低い位置まで下げられるることは大きなメリットです。何よりも、流線形のフォルムとデザインが格好良いですね。手に触れる部位や各部の動きも他と一線を画する高い質感があります。あと、美しいシートカラー。そのような「見た目」は、本質的ではないといわれるかもしれません。やはり患者さんにとって、自身の治療を託すことができるしっかりとした歯科医院であるかどうか、を見極めてもらえる重要な要素です。

機能面でいえば電動ヘッドレスト。これはとても気に入っています。様々な年代の患者さんの様々な症例に、初動の衝撃も無くスムーズにアジャストすることができます。加えて、フットコントローラーでも調整できます。これはマストアイテムとして強くお勧めしたいですね。強いて難を言えば、小児や小柄な高齢女性にとって、ヘッドレストの位置は高すぎるかもしれません。オプションパーツ等で位置を補えるものがあるとなお良いですね。

千葉先生にとって デンタルユニットに求めることは

「壊れないこと」「耐久性があること」「軸ブレがないこと」「サービス体制が優れていること」これに尽きます。途中で後悔しても、そう簡単には交換できるものではありません。そしてデンタルユニットがないと歯科医師は仕事にならず、かつ、長期間・長時間使用しなくてはならない。患者さんと術者が一番ストレスのない状態で長く居られるためにも、デンタルユニットの選択はみなさんが思っている以上に重要であると思います。私の価値観ですが、良いものを使い良い空間で仕事ができる、これ以上の喜びはありませんね。



北海道札幌市 医療法人社団豊翔会 南2条千葉歯科クリニック
理事長 千葉 豊和先生
 〈プロフィール〉
 1963年 6月18日生まれ
 1989年 東北歯科大学卒業
 1993年 奥羽大学大学院終了
 1993年 学位論文「MRIによる顎関節の基礎的研究」
 1994年 奥羽大学歯科補綴学 第2講座 非常勤講師
 1994年 東京都渋谷区原宿デンタルオフィス勤務
 1997年 9月 千葉歯科クリニック開業
 2005年 5月 日本補綴歯科学会専門医取得

〈所属団体・学会・スタディーグループ〉
 日本補綴歯科学会
 日本補綴歯科学会専門医取得
 日本歯周病学会
 SJCDイングナショナル会員
 日本臨床歯科医学会(SJCD) 北海道支部 顧問
 岩手医科大学 補綴インプラント科
 北海道医療大学 クラウン・ブリッジ・インプラント
 術綴第2講座非常勤講師



最後に、読者である先生方へメッセージをお願いします。

歯科医療は進歩し続け、患者さんのニーズも多様化しています。患者さん一人一人に向き合う治療、患者さんから求められる診療スタイルが必要です。そう考えると、人間による「ホスピタリティ」、視覚による「美しさ」、機能面では「最新の設備」。これらは相互にとても重要な役割を果たしており、その真ん中にあるのが「デンツプライシロナのトリートメントセンター」だと思います。

「これからの時代を担う若い先生や、改装を検討しているベテランの先生にとって、ユニットに投資することは良いことである」。これは私が所属する学会の理事長の教えもあります。歯科医師になって30年経った今、その意味がよく分かってきたよう気がするのです。

